

2026年7月20日

全国大学国語教育学会

2026年度学会通信 第2号

全国大学国語教育学会事務局

全国大学国語教育学会会員の皆様

暑中お見舞い申し上げます。

2026年度学会通信第2号をお送りします。今号の主な内容は、第151回鳥取大会の開催情報、『国語科教育』の投稿案内です。よろしくお願いいたします。

◆全国大学国語教育学会マイページのご案内

学会ホームページにマイページをご用意いたしました。学会ホームページよりリンクがありますので、そこから登録頂けます。またQRコードからもアクセスできます。「登録情報の確認・変更」「年会費の納入状況の確認」が機能としてございます。ご自宅・ご所属先に変更があった際は、マイページにログインいただき、随時変更をお願いいたします。ログインには会員番号とパスワードが必要となります。大変お手数をおかけしますが、ログイン画面中央部の「パスワードの設定はこちら」より、会員番号と学会に登録されているメールアドレスをご入力の上、パスワードの設定をお願いいたします。メールアドレスの登録が無い方、不明の方は、事務局までお問い合わせください。



＜学会事務局＞ Eメール: jtsj-post@as.bunken.co.jp

◆大会に関連したSNS記事の取り扱いについての注意喚起

学会・大会の内容に関するSNSの発信については、「全国大学国語教育学会 研究行動規範」にご留意いただくとともに、事実とは異なる情報(画像を含む)が拡散されないようご注意ください。

なお、「#jtsj」のタグ付けについては、その投稿を学会が承認したと思われる恐れがありますので、慎重に使用していただくようお願いいたします。

全国大学国語教育学会理事長
藤森裕治

◆第151回全国大学国語教育学会 鳥取大会 について

2026年7月7日

第151回 全国大学国語教育学会・鳥取大会 のご案内（第1次）

第151回全国大学国語教育学会 鳥取大会実行委員会

皆様におかれましては、お忙しい日々をお過ごしのことと存じます。

さて、第151回全国大学国語教育学会・鳥取大会を下記の通り開催します。

鳥取での学会開催は1992年（平成4年）第83回大会以来、実に34年ぶりとなります。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

実行委員長 小笠原拓（鳥取大学）

記

1. 開催日：2026(令和8)年10月24日(土)～10月25日(日)

- ・事前の参加申込手続きが原則です(当日はオンライン申込のみ、会場は受付デスクなし・現金不可)。以下（特に6.）の参加申込手続きをPC等で済ませてからご来場ください。
- ・会場の鳥取大学はeduroam参加機関です(eduroamアカウントをお持ちの方は学内無線LANを無料利用可)。利用方法は「eduroam.jp」サイトを参照し、ご不明点をご所属先の担当者等にお尋ねください。なおeduroam アカウントのない方は、モバイル Wi-Fi をお持ちになるか、資料データをPCへ宿舎等でご来場前にダウンロードするなどしてください。

2. 会場：鳥取大学 鳥取キャンパス[地域学部棟・共通教育棟A棟]

〒680-8550 鳥取市湖山町南4丁目101

- 交通アクセス <https://www.tottori-u.ac.jp/access/wide/>
- キャンパスマップ <https://www.tottori-u.ac.jp/access/campusmap-tottori/>
- ・本大会では、スタッフによる会場までの誘導はありません。
- ・宿泊施設の確保は各自でお願いします。宿泊施設は鳥取駅周辺に複数ありますが、鳥取大学前駅近辺・鳥取砂丘コナン空港近辺にはありません。なるべく早めにご予約されることをお勧めいたします。
- ・鳥取駅から大学までは、山陰本線で10分、公共バスで30分、タクシーで20分程度です。
- ・鉄道や公共バスの運行本数が少ないため、学会用の貸し切りバスを運行します。詳細は2次案内でお知らせします。
- ・鳥取砂丘コナン空港から会場までは徒歩25分程度です。連絡バス等はありませんので、ご注意ください。

3. 大会情報：鳥取大会 大会広報サイト

<https://sites.google.com/view/jtsj2026tottori/home>

- ・シンポジウム、課題研究発表、公開講座に関する情報を随時更新していきます。
- ・諸注意や変更点なども随時掲載していきます。

4. 開催日程

第1日 10月24日(土)		第2日 10月25日(日)	
8:45	開場 ※	9:00	開場 ※
9:30	自由研究発表	9:30	課題研究発表
12:20	昼食 理事会	12:00	昼食
14:00	総会	12:25	若手研究交流企画
15:10	シンポジウム	13:40	自由研究発表 ラウンドテーブル
17:40		16:30	
18:00	懇親会	※ 受付なし (会場での当日現金申込 不可/オンラインで申込手続きを 済ませてからご来場ください)	
20:00		* 公開講座は別日程 1月9日(土) 14:00～17:00 オンライン開催	

<第1日 10月24日(土)>

- AM 自由研究発表
- PM 理事会・総会

シンポジウム (会場校企画) 演劇から国語教育を探究する/国語教育から演劇を探究する
— 共同で意味を創造する営みをめぐって —

コーディネーター 石田 喜美 (横浜国立大学)
登壇者 (五十音順) 中井 悠加 (広島大学)
中島 諒人 (鳥の劇場・芸術監督)
渡辺 貴裕 (東京学芸大学)

懇親会 鳥取大学学生食堂 ウッドダイナー・アエル

<第2日 10月25日(日)>

- AM 課題研究発表 国語科教育研究の存立基盤 —〈立脚点〉としての学会—

コーディネーター 鈴木 愛理 (専修大学)
登壇者 (五十音順) 青山 由紀 (淑徳大学)
大島 崇行 (上越教育大学)
篠崎 祐介 (東京学芸大学)
山元 隆春 (広島大学)

- PM 若手研究交流企画
自由研究発表・ラウンドテーブル

※予告 1月9日(土)

- 14:00～17:00 公開講座[Zoomミーティング] *一般公開/無料/参加申込が別途必要

説明的文章の教材価値を見つめ直す

司会・進行 竜田 徹 (佐賀大学)
話題提供者 (五十音順) 篠原 嶺 (奈良国立大学機構 奈良教育大学附属中学校)

舟橋 秀晃（大和大学）

正木 友則（愛知教育大学）

三浦 剛（東京学芸大学附属世田谷小学校）

・2026年秋より、公開講座は大会会期から離して開催します。

・関連情報は [大会広報サイト](#)（3.）に随時掲載します。

5. 発表申込

（1）区分

① 自由研究発表（第1・2日） 発表20分 + 質疑応答10分、接続5分 **先着90枠**

② ラウンドテーブル(第2日) 1時間30分 ~ 2時間50分（最長） **先着 6枠**

・①・②とも事前に発表要旨（A4判2段組4頁・白黒・様式指定）を提出してください。

・①の発表日指定はできません。第1日か第2日かは大会事務局にご一任願います。

（2）手続

【発表・参加申込システム】 <https://iap-jp.org/jtsj/conf/member/login> で

お手続きください（[大会広報サイト](#)からも入れます）。

・発表申込は**7月21日(火)昼12:30開始**の予定です。

・Webでの申込が困難な方は大会ヘルプデスク（7.）までお問い合わせください。

（3）締切

発表申込の締切 9月 1日（火）正午 厳守 ※1

要旨投稿の締切 9月 18日（金）正午 厳守 ※2

※1 ①・②とも(1)の受入枠に達し次第、締切前でも受付を停止します（先着順）。

※2 締切後は要旨の掲載箇所が白紙となり、大会資料サイトへの要旨掲載も行えません。

（4）注意点

a. 発表資格の確認

自由研究発表の発表申込者(筆頭発表者)及び共同発表者と、ラウンドテーブルの発表申込者(コーディネーター)は、本学会の会員かつ年会費納入済みであることが発表資格です。

年会費を未納の状態では発表資格を有しません。

○ 今回の発表に際し、新規に入会される方

入会申請を8月10日(月)までに行い、年会費を9月11日(金)（※郵便振替の入金締切）までにご納入ください。

○ 現会員の方

開催年度(2026・R8年度)までの年会費を、9月11日(月)までにご納入ください。

b. その他の確認

・発表申込締切（または受付停止後）の発表申込は、一切受け付けません。

・発表申込締切の後には、題目・発表者等の変更はできません。ただし、締切日までの間にご自身でシステムから修正可能です。

・発表申込の登録情報と要旨原稿の記載情報は、必ず一致させてください。やむなく変更する場合は、必ず大会ヘルプデスク（7.）までメールでご連絡ください。

(5) 発表申込時の入力項目

① 自由研究発表 ……筆頭発表者が申し込む

発表区分(自由研究発表を選択)

題目・副題

筆頭発表者の氏名(ふりがな)、所属(※(4)bに注意)

共同発表者がいる場合は、その方の氏名(ふりがな)、所属(※(4)bに注意)

プロジェクター使用希望の有無 (パソコンは発表者持ち込みでお願いします。接続ケーブルは用意いたしますが、会場によってRGBかHDMIのいずれかで接続することになりますので、必ず両方の接続アダプターをご準備ください。)

② ラウンドテーブル ……コーディネーターが申し込む

発表区分(ラウンドテーブルを選択)

題目・副題

登壇者の氏名(ふりがな)、所属(※(4)bに注意)、発表形式

共同発表者がいる場合は、その方の氏名(ふりがな)、所属(※(4)bに注意)

プロジェクター使用希望の有無 (パソコンは発表者持ち込みでお願いします。接続ケーブルは用意いたしますが、会場ごとにRGBかHDMIのいずれかで接続するため、必ず両方の接続アダプターをご準備ください。)

(6) 発表要旨原稿の投稿

- ・発表の申込手続きが完了したら、投稿できるようになります。
- ・テンプレート (A4判2段組・4頁以内) は学会サイト (<https://www.jtsj.org/taikai>) からダウンロードしてください。発表要旨集(6.(2)④)にはA4判白黒で掲載します。
- ・原稿はPDFの形式にし、【発表・参加申込システム】から投稿してください(投稿画面にPDF変換の装置を設置)。文字化け等がないか、PDF原稿は投稿前に必ずご確認ください。
- ・原稿PDFは大会資料サイトにも掲載します。また、大会終了後はそのままJ-STAGE (<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jtsjs/-char/ja>) にも登載するため、学習者等の個人情報や著作権に関する取り扱いには十分ご注意ください。

(7) 発表上の留意点

○ 当日資料を用意する場合、次の点にご留意ください。

- ・『発表要旨集』配付を前提に、要旨との重複を避け、必要な資料に絞って作成願います。
- ・紙の当日資料は会場運営の都合上、A4判で極力作成してください。**100部を作成し、当日は各教室までお持ちになり、うち2部を司会に渡して、残部を資料配付用机にご自身でお並べください。**宅配預かり、印刷、2日目資料の1日目預かりなどは一切承れません。
- ・当日使用するデジタル資料のアップは任意ですが、PCやタブレット端末での閲覧を希望される方も多く、紙資料不足時への備えもあり、資料のアップには極力ご協力ください。
- ・学習者等の個人情報や著作権の取り扱いにご注意ください。手続きは各自でお取りください。

○ プロジェクターを使用する場合、次の点にご留意ください。

- ・パソコンは発表者自身が持ち込んでください。
- ・接続ケーブルは用意いたしますが、会場によってRGBかHDMIのいずれかで接続することになるので、必ず両方の接続アダプターをご準備ください。
- ・当日に紙資料を配付されない場合でも、進行や座席配置の都合上、**投影データがある場合はそのハンドアウト(出力紙)2部を司会に、差し支えない範囲でご提供ください。**

6. 参加申込

事前参加申込の締切

郵便振替の方※ 9月17日(木) クレジット決済の方 10月1日(木)

※ 郵便振替の入金締切は**9月18日(金)**です。お早めにお手続きください。

年会費の早期納入にもご協力ください(一般会員の納入期限は毎年5月末日)。

(1) 手続

【発表・参加申込システム】 <https://iap-jp.org/jtsj/conf/member/login> で
お手続きください(大会広報サイトからも入れます)。

- ・ 大会の参加には**事前申込**が必要です。**参加申込は7月21日(火)昼12:30**受付開始予定です。
- ・ 開始前は、アクセスしても受付期間外のメッセージが表示されます。

- 1) 【発表・参加申込システム】のログインページにアクセスする。
- 2) ログインIDを取得する。登録したメールアドレスに、ログインIDが記載された完了通知メールが配信される。
- 3) ログインIDと登録したメールアドレスを入力して、システムへログインする(このIDとアドレスは要保存)。
- 4) 申込者情報を登録する(会員は、会員番号の入力が必須です。会員番号は、学会から会員に発送する封筒の宛名ラベルに記載されています)。
- 5) 事前参加申込を行う(申し込みが完了すると、登録したメールアドレスに申込完了通知メールが配信されるので、ご確認ください)。

※ 参加だけでなく発表もご希望なら、発表申込の手続き(5.)も併せてお願いします。

(2) 大会参加費

① 参加費用

申込開始日時 (**7月21日(火)昼12:30**)以降、システム上でお手続きください。

事前申込	当日申込(会期前再オープン) ※1 ※2
(会 員) 6,000円	(会 員) 7,000円
(学生会員) 4,000円	(学生会員) 5,000円
(非 会 員) 7,000円	(非 会 員) 7,000円
(学生非会員) 5,000円	(学生非会員) 6,000円
(懇親会) 5,000円[先着100名]	

※1 事前の申込が原則です(当日はオンライン申込のみ、会場には受付なし・現金不可)。

※2 クレジットカードのない方は、郵便振替にて事前申込の期間内にお手続き願います。

- ・ 事前参加申込の締切後に参加ご希望の場合は【発表・参加申込システム】で会期前から当日までに申込と参加費の納入(クレジットカード決済のみ)を完了させてから会場にお越しください。

② 昼食(第1日・第2日)

- ・ 会場近隣の飲食店、コンビニエンスストア等は限られています。お弁当の注文をお勧めします。(発表・参加申込システムから注文してください。)
- ・ 料金は飲物込みで**1,000円**です。事前申込期間のみ、注文を受け付けます。
- ・ 理事会に出席する役員、ならびにシンポジウム・課題研究発表に登壇する方は、当日分の弁当を大会事務局でご用意いたしますので、その当日分についてはご注文不要です。

③ 納入方法

- ・ 郵便振替とクレジットカード決済のいずれかをご選択ください。
- ・ 郵便振替の場合、振込先は申込完了後に届く完了通知メールに記載されています。

- ・ 郵便振替の申込は9月17日(木)まで、入金は9月18日(金)までにお願いいたします。

④注意点

- ・ 発表申込(5.)と参加申込(6.)は別です。発表者は必ず事前に参加申込も済ませてください。
- ・ 印刷された大会発表要旨集をご希望の方は、実費(予価5,000円)にてお求めいただけます。参加申込時に選択してください。9月30日(水)までに入金を確認した申込は会期前に発送します。それ以降の申込分は会期後に発送します。なお、大会発表要旨集は大会終了半年後以降に、J-stage (<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jtsjs/-char/ja>) に掲載予定です。
- ・ 大会に参加するため新規に本学会に入会される方は9月1日(火)までに入会申請をした上で、9月4日(金)までに年会費をご納入ください。時間がかかるためお早めにお手続きください。
- ・ 託児サービスがございます。詳細は2次案内などでお知らせいたします。

7. お問い合わせ先

●参加申込・発表申込・原稿投稿・諸費用に関すること

全国大学国語教育学会 大会ヘルプデスク

E-mail : jtsj-desk@conf.bunken.co.jp FAX : 03-5227-8632

〒162-0801 東京都新宿区山吹町358-5 アカデミーセンター

●年会費に関すること

全国大学国語教育学会 事務局

E-mail : jtsj-post@bunken.co.jp TEL : 03-6824-9377 FAX : 03-5227-8631

〒162-0801 東京都新宿区山吹町358-5 アカデミーセンター

●第151回全国大学国語教育学会 鳥取大会 に関すること

大会実行委員会（お問い合わせはEメールでお願いします）

E-mail : taku@tottori-u.ac.jp

〒680-8550 鳥取市湖山町南4丁目101 鳥取大学地域学部 小笠原 拓 宛

●鳥取大会 実行委員会

実行委員長 小笠原 拓（鳥取大学地域学部 人間形成コース）[国語教育学]

事務局長 木村穂乃香（鳥取大学地域学部 人間形成コース）[国語教育学]

◆『国語科教育』第101集 投稿募集について

『国語科教育』編集委員会

※投稿に関する詳細情報はこちら

<https://www.jtsj.org/kokugoka>

1. 投稿論文の受付期間は 2026 年 8 月 1 日(土)～2026 年 8 月 31 日(月)です。この期間以外に投稿された原稿は審査の対象となりません。
2. 第九十四集から、『国語科教育』への投稿は電子投稿システムによる募集となっております。郵送による原稿募集はいたしませんのでご注意ください。電子投稿システムには学会ホームページから入ることができます。
3. 投稿に際しては次の『「国語科教育」投稿要領』に従ってください。なお、投稿要領は、その都度改定が行われています。過去に本誌に掲載された論文の体裁のみを参照せず、必ず現在の投稿要領にしたがって投稿してください。
4. 電子投稿に対応するため下記の「原稿を投稿するにあたって」の投稿方法に関する箇所を必ずご確認ください。

「国語科教育」投稿要領（令和 7 年 11 月 22 日改訂）

投稿論文の内容および体裁について

1. 論文原稿は未発表のものに限る。ただし、口頭発表、プリント類の場合はこの限りではない。なお、他誌に掲載された自らを著者とする論文と著しく重複する内容の論文を、投稿してはならない。
2. 重複投稿の禁止
本誌『国語科教育』に投稿された論文等はその採否が決定するまで国内・国外を問わず他誌に投稿することはできない。また、他誌に投稿中のものは受付けない。
3. 募集枠は、「研究論文」「実践論文」「資料」の三つのカテゴリーとする。どの枠に応募したものであるかが分かるように、そのことを題名の前に明記する。ただし、採択の枠付けに関しては、編集委員会の最終的な判断によるものとする。
研究論文：独創的な知見を含む学術研究。
実践論文：国語科の先行実践をふまえて、新たな実践の方向性や意義・価値について学術的な根拠に基づいて論じたもの。
資 料：国語科教育学に関する基礎的データや国語教育の実践・研究に関する情報を提示したもの。
4. 連続掲載は、原則として 2 回までとする。
5. 論文原稿は、縦書きまたは横書きで、原則としてパソコンを使用する。
6. 編集委員会において特に枚数を指定するもの以外の論文原稿は、投稿フォーマットで 10 ページ分以内とし、1 ページあたりの字数・行数を次のようにする。
 - (1) 横書きの場合
23 字×44 行×2 段（1 ページ 2,024 字、ただし最初の 1 ページは、題目・氏名のスペースとして 7 行 2 段をとる。）
 - (2) 縦書きの場合
33 字×31 行×2 段（1 ページ 2,046 字、ただし最初の 1 ページは、題目・氏名のスペースとして 7 行 2 段をとる。）
 - * 学会ホームページに記載している、投稿原稿用のテンプレートを必ず使用すること。
 - * 引用および注の文字ポイントは本文と同じとする。ただし、図表についてはこの限りではない。
 - * 図表は本文の中に含めて計算し、本文内に該当箇所を明示することとし、縮小率は 8 割以上、かつ文字の大きさは 8 ポイント以上とする。

7. 原稿は以下の体裁で整えること。

(1) 論文本体

＊ 表題の下に、投稿論文に関わるキーワードを記すこと。

＊ 論文には氏名・所属等、書き手を特定できる情報は書かないこと。（書かれている場合は審査対象から除外されます）

(2) 注（ただし、引用のための注はつけない）

(3) 参考文献

＊ 論文本体や注、参考文献に「拙稿」「拙著」など、投稿者名が判明するような記述を行わないこと。

(4) 研究助成を受けた場合の記載

＊ 科学研究費等の助成を受けた場合は、書き手が特定されないように、課題番号部分を以下のように記載すること。

（例：本研究は、JSPS 科研費課題番号 ＊＊＊＊＊＊の助成を受けた）＊の数は課題番号の文字数に合わせる。

8. 引用文献の記載について

(1) 引用文献の記載方法は、原則として APA スタイルに準拠する。

(2) 本文中における引用の記載方法は、次の通りである。

① 著者が一人の場合は、著者の姓および発行年を本文中に挿入する。

……（高橋，2010）。……（Black，1988）。

高橋（2010）は、……。Black（1988）は、……。

② 著者が二人の場合は、両方の著者の姓および発行年を本文中に挿入する。

……（高橋・鈴木，2012）。……（Black & White，1992）。

高橋・鈴木（2012）は、……。Black & White（1988）は、……。

③ 同一刊行年の文献は、刊行順に a, b, c, を刊行年に付し区別する。

佐藤学（1999a）『教育時評 1997-1999』世織書房

佐藤学（1999b）『学びの快楽 ダイアログへ』世織書房

(3) 論文末に、日本語文献と非日本語文献とに分けて参考文献を記載する。日本語文献は著者の姓の五十音順に、非日本語文献は著者の姓のアルファベット順に参考文献を掲載する。翻訳文献は、非日本語文献として記載する。記載方法の例は、次の通りである。

① 学術誌の論文

石井庄司（1953）「国語教育学の完成を期して」『国語科教育』第2号，1-4.

Posner, G. J., Strike, K. A., Hewson, P. W., & Gertzog, W. A. (1982). Accommodation of a scientific conception: Towards a theory of conceptual change. Science Education, 66(2), 211-227.

② 書籍

全国大学国語教育学会編著（2013）『国語科教育学研究の成果と展望 2』学芸図書

大槻和夫（1997）「国語科教師における国語教育学の目的と体系」全国大学国語教育学会編『国語教育学の建設 1 国語科教師教育の課題』明治図書，1-104.

Fraser, B. J., Tobin, K. G., & McRobbie, C. J. (Eds.). (2012). Second international handbook of science education. Dordrecht, Netherlands: Springer. Wertsch, J. V. (1991). Voices of the Mind: A sociocultural Approach to Mediated Action, Cambridge, Mass: Harvard University Press. 田島信元他訳（1995）『心の声—媒介された行為への社会文化的アプローチ』福村出版.

③ オンラインからの引用

文部科学省（2011）「言語活動の充実に関する指導事例集【小学校版】」

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/gengo/1301088.htm（○年○月○日確認）

Degelman, D., & Harris, M. L. (2000). APA style essentials. Retrieved May 18, 2005, 10from Vanguard University, Department of Psychology Web site:

http://www.vanguard.edu/faculty/ddegelman/index.cfm?doc_id=796

(4) 本文中の文献ページ数の記載は、以下のいずれかの方法に従う。

① 発行年の後に「:」（コロン）を入れて「著者名（発行年:ページ）」とする

例：石井庄司（1957:2）は「〇〇〇」と述べている。

② 引用の最後にページ数を明示する。

例：石井庄司（1957）は「〇〇〇」（p. 2）と述べている。

③ 注の形式（脚注，または，巻末注）で，参照する文献のページ数を明示する。

例：石井庄司（1957）は「〇〇〇」¹と述べている。 注 1. 石井庄司（1957）p. 2

原稿を投稿するにあたって

9. 学会ホームページから電子投稿システムによって投稿すること。投稿に際しては、論文の電子ファイル（Word ファイルまたは PDF ファイル）が必要になる。なお、英文要旨と日本語要旨は論文掲載決定後に提出となる。

10. 投稿論文は，上期においては8月1日から8月31日までの期間，下期においては3月1日から3月31日までの期間に受け付けるものとする。

11. 著作権について

本誌『国語科教育』に掲載された著作物（電子媒体への変換による利用も含む）の複製権，公衆送信権，翻訳・翻案権，二次的著作物利用権，譲渡権等は本学会に譲渡されたものとする。著作者自身のこれらの権利を拘束するものではないが，再利用する場合は事前に本学会宛に連絡をする。

12. 投稿資格について

投稿にあたっては著者全員が会員資格を有し，当該年度までの年会費を納入していること。

※第 100 集より、編集委員会は会員の中から理事会の選出する 12 名によって構成されています。
（令和 7 年 11 月 21 日修正）